

留学先：Clemson University

氏名： 黒川晶平

【はじめに】

11月に入り、真っ赤に色づかせた紅葉も散ってクレムソンにもすっかり冬の季節がやってきました。しかし、こちらの冬は福井と違って、雪がめったに降らない代わりに朝と昼の寒暖差が大きく、澄み切った青空の日が多いそうです。実際ここ数日は、日中ならTシャツでも過ごしやすい気候が続いています。

さて、今月は僕が携わっている日本語クラブの活動を紹介したいと思います。

【日本語クラブの活動】



クレムソン大学にはCUJCA(Clemson University Japanese Cultural Association)という名の日本語を学ぶ学生たちで組織されたクラブがあります。僕も含め、日本から来ている交換留学生はこの団体の一員として迎えられ、学期を通して様々なイベントに携わっています。

メンバーは全員日本語専攻というわけではなく、日本語の授業を取っており且つ日本についてもっと知りたい、勉強したいという学生なら気軽にいつでも参加できるようになっています。主な活動としては、日本の映画を鑑賞するJapan Film Fest、日本留学希望者用の勉強会、異文化交流イベントのブース設営などがあります。8月と9月にはアトランタとサウスカロライナ州内でそれぞれ開催されたJapan Festivalに出かけ、和食や伝統工芸などを見て楽しみました。

僕が最も楽しみにしているのは、ほぼ毎週設けられる“Hablo 日本語”という時間です。2時間ほど教室を貸し切って日本語によるフリートークや勉強会が学生たちの間で行われます。もちろん学生たちのレベルに差はありますが、時折英語を交えてながら日米の価値観の違いを話したり、お互い新しい語彙を学んだり、毎回非常に濃い時間になります。僕自身、この活動を通して多くのアメリカ人の友達を作ることができました。各国から来

ている他の交換留学生たちにも良さはありますが、アメリカ人と話していると正しい英単語の意味や使い方、学校生活の詳しいことなどまでとても勉強になります。日本語を学ぶ彼らからは毎回大変歓迎されるので、毎週楽しみにして活動に参加しています。

【季節の移ろいと秋のイベント】



10月の中ごろには4日間の学期の秋休みがあり、それまでは授業の課題等で大変忙しかった一方で、夏が終わり秋へと変わる季節の移ろいを身に染みて感じる事ができました。クレムソン大学の広大なキャンパス内には、たくさん木々が生き茂っています。約3か月前に来たときには、その緑が美しく映えていましたが、気温が下がるとともに、見事なまでに紅葉模様に変色していききました。福井での生活と違い、こちらでは毎日のように赤や黄色に染まった木々に目を奪われながら生活する事ができました。

秋休みには、アメリカ人のルームメイトの実家に滞在させてもらい山中で射撃を楽しんだり、別の休日にも友人と果樹園に行ってリンゴ狩りを体験したりと自然を堪能しました。この最中にも紅葉の美しさに感動していたのですが、アメリカ人は紅葉についてどう思っているのか疑問に思い、友人に訪ねてみることにしました。すると、日本人と同様に四季の移ろいには感動するものの、紅葉狩りにわざわざ遠出するようなことはめったにしないのではという興味深い意見を聞く事ができました。彼らからすると、秋の京都が人でごった返すのは少し異常に感じるそうです。

10月最後のイベントとしてハロウィンも体験しました。近年では日本でも大変人気が出てきましたが、こちらでは仮装のみならず、伝統に基づいてかぼちゃのランタンを置いてある家庭が多く見られました。僕も日本の甚平の衣装に身を包み、友人とともにパーティに行きました。なかなかユニークな仮装ばかりで、本場の雰囲気を楽しめただけでも良かったと思います。

今後も学業とともに様々な行事を楽しみたいと思います。それではまた来月の報告書で。